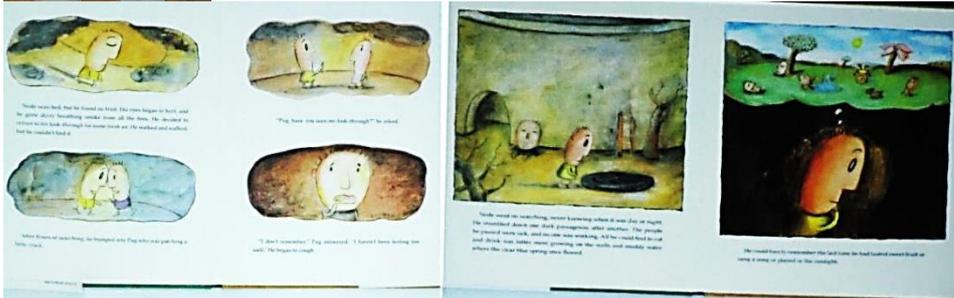




「シンプルピープル」の絵本、私たちの心に風の息づかいを与えてくれる。



バイオリン狭間孝さん、フルート熊井昭さん込山陽子さん。延藤安弘さんの絵本語りに酔いしれた。



壁をつくり、囲い込むことで、外の世界が見えなくなっていく、風穴を開けることで、素敵な世界に戻っていくという。



「3匹のかわいいオオカミ」では、強さに対して強さではなく、優しさ、美しさ、弱さをもって対応することで、人々の心は変わり得ることを示唆しています。平和というまやかしの言葉でごまかされない感性を私たちは持ちたいものだと思います。

「スノーピー」の話には、こんなにも奥深い意味があったんだ。足の裏に感じるチクチク、のんびり歩く心の余裕など。シンプルピープル、トンネル、図書館ライオンからは、固定観念や決まり事で、人間の生活を知らない間に閉塞的な世界にしてしまっている現代社会を、ものの見事に映し出しているではありませんか。

第4回
まちの縁側育み

蔵の2階に幻想的な世界が広がる
絵本で聴く、音楽で見る、縁側物語

絵本で語るまち育ての極意

延藤幻燈師の語りとバイオリンとフルートのコラボで始まった「まちの縁側音楽会」。古い質屋を改修した「寺

町商家」の蔵の2階には70名が集まった。
延藤幻燈師が語る絵本には、今の時代を読み解く大切なメッセージが込められていた。

かわらばん

まちえんながの

第26号

8月24日(月)

発行
まちの縁側育み
プロジェクトながの

長野市ボランティア
センター内
TEL 227-3707
FAX 224-1513



絵本の心を読み解く



第1部絵本と音楽の幻燈会



忘れかけていた心が、
絵本の中から跳び出してきた！



泉水が静かに流れる
庭に、絵本から飛び出
たようなたくさんの出
会いはありました。

おまけ縁側のメインは食べること



これぞまちの縁側、食文化の豊かさがあふれている。

食べ方もまちの縁側風に自由です。縁側で食べるもよし、密かに二人で食べるもよし。みんなで囲んで食べるもよし。空間も使いようでこんなに変化することを実感しました。



縁側楽会の恒例の出し物は、「縁側を持ち寄る」ことです。自慢の食べ物を紹介することで、話に花が咲き、食文化の伝達になります。縁側の心を伝え合う大切な時間でした。



大きな交差点の近くにお店はある。小さくしてもお店を続けられたら・・・と、漬物などの加工品に力を入れている。

4月、縁側を開きたいので相談のつてほしいと、Mさんから相談を受け、五明さんのお店で話し合いをしました。

Mさんと五明さん夫妻、ボランティアセンターの職員さん、更北地区の地域福祉ワーカーさん、育みプロジェクトの面々です。

青木島町で八百屋さんを営む五明さんは、75才を過ぎた高齢の御夫婦です。

「なんども店を閉めようと思った」そう語るご夫婦。

そこに、お客さんでお店に来ていた女性Mさんが「ここをまちの縁側にしよう」と、思い立ったのです。

まちの縁側を開きたい！

五明さんとMさん、それぞれの思いをお聞きしました。その思いを実現するために「そんなに気負わずに自然体でやろう」「ここでお茶のみができることを知ってもらおう」「更北地区で応援してくれる人を巻き込もう」「縁側を開いている人の力を借りよう」と、次から次へと面白い発想が生まれました。その結果

- ・まちの縁側の看板を出そう
- ・知ってもらったためのミニイベントをして関わってくれそうな人を探そう

ということになりました。



↑お茶のみスペースをつくるための準備をお手伝い。右側のかわいいロボットは丸山さん作の縁側看板。メッセージボードも兼ねている。



7月16日
「看板作りの会」

同じ更北地区の縁側人丸山政義さんが素晴らしい看板をつくってくださいました。お店に來られた方もさっそく興味津々の様子でした。その時に応援に駆け付けた大勢のみなさんが、今回の主旨に賛同！心強い仲間ができました。



8月6日
「七夕お茶会」



更北地区の縁側人も応援に駆け付けました。モーリス田口さんがギターを携え登場すると一気に盛り上がり歌って楽しみました。

子ども、若者も参加。いろんな方によって、口コミで広がり、ご近所のみなさんが、「今日お茶会なんだって」と、気軽に寄ってくださいました。

青木島に引越してきたばかりの女性は、地域の分からないことをいろいろ聞いて、ほっとされていました。

「行き場所を探しているお年寄りがいる。みんなとおしゃべりできる場があったら」というMさんの思いも実現した日になりました。

五明八百屋さんの縁側は始まり。物語は、次へ続きます。

子どもと一緒にスイカを食べる・・・こんな気楽さがいいね。

つばやき
縁側茶会には90人を超す方が参加。会場となった寺町商家のある松代地区は、元祖まちの縁側「石川さんのベンチ」をはじめとした縁側の宝庫！毎年たくさんの方が視察に訪れます。形にとられない緩やかさや多様さがあるだけでなく、思いを持った縁側人に出会えます。



お問い合わせはこちらのメールへ
matushiroan@gmail.com (西沢)

*まちの縁側育みプロジェクトなので、まちの縁側を伝え広める活動をしています。

地域に届けたい縁側の紹介や講座、研修等を行っています。縁側に関心のある方はご一報ください！